

今年もさまざまなプロジェクトが動き出す？！

プロジェクト活動報告特集

発行
和田町タウンマネジメント協議会
担当
高見沢実
和田べんプロジェクト(野口彰久)
Tel 045-339-4066

—第49回目の協議会の概要—

第49回協議会が1月27日(水)に開催されました。今回は、地域の方々、スタジオ★へそちくの方々、県中央会の方々、横浜国大の教員・学生の計20名の参加があった。

今年最初の協議会では電動アシストサイクル試乗会の実施結果報告や和田町地産地消推進プロジェクトー商店街×農業ーの提言、和田町エリアマネジメントプロジェクトの報告・相談や、わだまちミツバチ大作戦2010の報告などが行われた。

■学生アイデアコンペの作品が再び！

昨年末べっぴんマーケットで行われた『学生アイデアコンペ』の提出作品が、3月13日(土)のアートフェスティバルの際に和田町西部町内会館にてパネル展示される事が決定しました。べっぴんマーケット当日の展示、公開審査会をご覧になれた方は是非いらして下さい。当日はコンペを主催した和田べんプロジェクトの学生が質問に対応する予定です。

またそれと連携してアートフェスタ当日、旧和田西部町内会館1Fを利用した一日限定での学生プロジェクト実現化を検討しています。

今後も学生の提案を単なるアイデアにとどまらせる事なく積極的に具現化していくべく、タウンマネジメント協議会で話し合っていきたいと考えています。

■わだまちミツバチ大作戦2010始動

3月1日(月)からヨコハマ商建連携推進協議会と(社)横浜建設業協会保土ヶ谷区会の共催事業、『わだまちミツバチ大作戦』が始まります。この事業は養蜂を行うことで、①和田町の緑化の促進②ミツバチの生産する蜂蜜WANEY(※)のブランド推進③地産地消を達成し、地域コミュニケーションと地域経済の活性化を図っていくものです。

養蜂は工藤ビルの屋上で行われ、約2万匹のミツバチが飼育されます。ミツバチの行動範囲は半径5kmに及び、蜜源は主に和田町周辺の住宅地や保土ヶ谷公園、横浜国大まで広範囲にわたります。

※WANEY(造語)=WADA(和田)+HONEY(蜂蜜)

■電動アシストサイクル試乗会の報告

べっぴんマーケットでの試乗会は横浜市のほどがや地球温暖化対策推進ネットワークのもと、ヤマハ発動機(株)の協力を得て実施されました。試乗者は約50名で電動アシスト付自転車に初めて乗る方が約80%を占めました。試乗した方々は電動アシスト付自転車の快適性、利便性を体感していました。

協議会では和田町を起点として横浜国大等への自転車交通のネットワーク形成の可能性について議論が交わされました。CO₂削減が叫ばれる昨今、自転車が地球環境を救う事になるかもしれませんね。

◇ミツバチについて

ミツバチはおとなしいハチで、刺激を与えなければほとんど人を刺すことはありません。まちや皆さんのお庭で見かけてもそっと見守ってあげて下さい。やがておいしい蜂蜜を皆さんに届けてくれるはずです♪



◇試乗車の主な感想

- ・走り出しのパワーに驚いた
- ・乗りやすい
- ・思ったより軽かった
- ・坂道で乗ってみたい
- ・思ったよりデザインが良かった



電動アシストサイクル試乗の様子

—編集後記—

年明け最初の協議会が行われました。今回は左で記したもの以外にも、今後実現化していくきそうなプロジェクトについての議論が多く行われました。今年も和田町での活動に乞うご期待です。

和田べんプロジェクト

